

令和元年度 第3回学校運営協議会 簡略版(令和2年1月27日)

1 参加者 学校運営協議会委員 5名, 校長, 学校事務局等 7名

2 報告概要 令和元年度学校経営計画 達成状況

(1) 概要説明 「学校教育自己診断」より

・「授業が分かり易い」66.1%→69.0%

毎年肯定的評価が延びています。さらに授業改善を進めていきます。

・「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会あり」65.5%→71.0%

授業やその他の機会でアウトプットすることを強調してきた。

・「進路の情報を提供されている」86.3%→88.5% ガイダンス機能を充実させた。

・「学校へ行くのが楽しい」78.4%→82.7% すべての学校生活を含んで「楽しい」増

・「悩みや相談に親身にまわって聞いてくれる先生がいる」67.2%→70.2%

“寄り添い”が促進。

・部活動 すべてで肯定的な割合が伸びています。

(2) 中期的目標

1. 進路指導の確立

《ガイダンス機能》強調しているので、肯定的評価が上昇しています。

2. 授業力向上

《授業》まだまだ頑張る必要あり。次年度の課題。

3. 人間性の育成

《人権》人権の大切さが75%から82%に上昇。

生徒向け講演会を全学年で実施、「人権だより」を各学年で月1回発行

4. 学校づくり

《広報活動》今年度は1年生が出身中学校への訪問活動を行いました。

《裏山活用》 地域交流も兼ねて裏山を活用しました。

5. 校務の効率化

《ストレスチェック》総合健康リスクは少し改善されました。

(3) 各分野の説明

《進路指導》公募推薦入試等合格率は7.8%上昇。AOや公募推薦入試：関関同立すべてに合格者。国公立大学推薦入試：三重大学に合格。就職：公務員で豊中市役所2名、大阪府実習教員1名の合格。

《第2回授業アンケート》全質問項目の平均値は今回減少。第1回と比較すると半分の教員の平均値が減。今後も地道な授業改善を進める必要あり。

《刀根山サミット》生徒会執行部が教職員・PTA役員に要望を提出し議論の場を持った。今年度は「休み時間のスマホ利用」に関してかなりの時間協議。今のルールを守ることに。それが出来た段階でルール変更に関して相談することに。

《授業研修》「授業研修」年間2回計画。今年度はサミット日程関係で1回のみ。

11/28に「研究協議」実施。

今年度は①「主体的・対話的で深い学び」の授業実践。各教科で実践する際の課題を考察。②本年度から実施「総合的な探究の時間」の実践を見学し、今後の授業計画や授業実践のための課題を共有、この2点を目標に。

国語は「こころ」にグループワークを取り入れ、深い学びを求めた。

英語ではペアワーク、リテリング等が定着。

《生活指導》遅刻は減少。しかし、「事情のある遅刻」が増加傾向。今後も寄り添った丁寧な指導が必要。スマホの休み時間での利用は「分かっているが、止められない」という状態。

《部活動》 府下ベスト8、16レベルの部活動が男子バレーボール部・女子ハンドボール部・男子ハンドボール部・ダンス部。男子バレーボール部は2年連続で近畿大会出場、ダンス部は8年連続で全国大会へ出場。囲碁将棋サークルが発足。

3 協議概要

《「電気代上昇の件」：どういふことでしょうか》

A：今年度、入札の結果、基本料金が高い業者に。学校単位では電気代が上昇することに。大阪府の運営で学校の運営ではない。

《遅刻指導》・遅刻者の理由で課題のあるものは、どのようなのですか。

A：学校に来づらい生徒が微増。スマホ使用の歯止めがきかず、朝起きられない生徒が増加。共働き家庭が多くなっているため、生徒が一番最後に家を出るといった形態が増えていることも影響。実は大学でも「不登校」が多くなり、それに対応する部署もできている状況もあるとのこと。

4 次年度「学校経営計画案」について

「めざす学校像」、「中期的目標」の基本は同じです。

その中で個別ガイダンスを重視していきます。例：進路相談室活用等

また、知識を活用し課題解決する力をつけることは新たにつけ加えました。

以上 「H31報告案」と「R2計画案」がすべて承認された。